

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|---|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 26 | 入居者の平均年齢が90歳を超えているため、安全と安楽を確保することが必要 | 転倒、転落、誤嚥を起こさないように注意して、安全・安楽な楽しい生活を送ることが出来る | 歩行時、移乗時、移動時に転倒しないように、リハビリ体操、散歩、立ち上がり体操等により下肢筋力を強化する。 入居者の皆さんが、和やかに、いさかいを起こさないように過ごして頂けるように支援する。 | 6ヶ月 |
| 2 | 13 | 職員間において、介護の知識・介護技術に差があるため、職員の意識向上を図ることが必要 | 計画性を以って自主的に勉強をする。 認知症についての勉強会を開催する。 OJT職場研修を行う。 | 認知症の勉強会を定期的に行う。 安全・安楽についての勉強会に参加して、知識を身に着ける。 入居者の状況把握を職員で共有する。入居者の方々が穏やかに過ごして頂ける様に見守り、気配りを心がける。 | 12ヶ月 |
| 3 | | | | | ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。